

武蔵村山市環境基本計画 (改訂版)



平成24年5月
武蔵村山市

武蔵村山市環境基本計画の改訂にあたって

私たちの住んでいる武蔵村山市は、緑豊かな狭山丘陵の懷に抱かれたまちとして、市民の皆様とともに伝統的な文化や産業を継承しながら発展してまいりました。

一方で、今日、私たちの生活は、経済活動の発展や拡大により、大変便利で豊かになりましたが、昨年3月11日の東日本大震災を受けた私達の生活も一変いたしました。ごみ問題や騒音など生活環境に関わる身近なものから、深刻な問題となっている地球温暖化などの地球規模の大きな問題まで多岐にわたっております。



私たちは、この豊かな自然環境に囲まれた武蔵村山市を大切に、今の環境をより良いものとして、次世代を担う子供たちなど市民に引き継いでいかなければなりません。

そこで、市では武蔵村山市第四次長期総合計画に定める『人と緑が織りなす 夢ひろがる やさしいまち むさしむらやま』を将来像として掲げ、その実現に向けた環境に関する施策に取り組んでおります。

平成16年7月に武蔵村山市環境基本条例を施行し、これに基づき、本市の環境保全等に関する施策の計画的な推進を図るため、武蔵村山市環境基本計画を策定いたしました。

この環境基本計画では、市民・事業者・行政の三者が協働のもと、それぞれの立場で積極的に行動をすることを基本とし、『狭山丘陵にいだかれた自然と共生し、誰もが安心して暮らせるまち むさしむらやま』を目標に、この目標を実現するために6つの基本目標、13の環境目標を掲げております。

また、本計画は平成18年度から平成27年度までの10年を計画期間と定めておりますが、今年度においては、環境問題や社会情勢の変化を踏まえ、本計画の改訂を行いました。

今後、市は本計画をもとに、さらなる環境の保全等に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、目標としている『狭山丘陵にいだかれた自然と共生し、誰もが安心して暮らせるまち むさしむらやま』を実現できるよう努力していく所存でございますので、市民、事業者の皆様におかれても、ライフスタイルの改善や事業活動の見直しなど、身近にできることから取り組んでいただき、環境に負荷、負担の少ない循環型社会づくりにぜひとも御理解、御協力をお願いいたします。

最後になりましたが、本計画の改訂にあたり、御尽力を賜りました武蔵村山市環境審議会委員の皆様をはじめ、貴重な御意見、御協力をいただきました市民の皆様にご心より感謝申し上げます。

平成24年5月

武蔵村山市長

藤野 勝

目 次

第1章 環境基本計画の基本的事項	1
1 計画策定の背景と目的	2
2 計画の位置付け	3
3 計画の期間	3
4 計画の対象地域	3
5 計画の推進主体	4
6 対象とする範囲	4
第2章 環境の現状と今後の課題	5
1 自然環境の現状と今後の課題	6
2 都市環境の現状と今後の課題	9
3 生活環境の現状と今後の課題	13
4 環境負荷の現状と今後の課題	16
5 地球環境の現状と今後の課題	18
6 参加と協働の現状と今後の課題	20
7 過去（平成18年度から22年度まで）の環境施策の実績	21
第3章 望ましい環境の創出に向けて	37
1 望ましい環境像	38
2 基本目標と環境目標	39
3 計画の体系	42
第4章 環境施策の展開	45
1 狭山丘陵と森を育む	46
2 親しみのある水辺をつくる	48
3 動植物と人との共生	50
4 まちのみどり・身近なみどりをつくる	52
5 農地を守り、育てる	54
6 快適でやすらぎのあるまちをつくる	56
7 地域の歴史や文化をまもる	58
8 安心して住みよいまちをつくる	59
9 資源やエネルギーを大切にす	64
10 ごみを減らしリサイクルを進める	66
11 地球をいたわる	68
12 環境に関心を持ち、学ぶ	70
13 環境活動を活性化す	72

第5章 重点的取組の推進 75

- 1 狭山丘陵の保全・活用 76
- 2 環境に配慮したまちづくりの推進 77
- 3 生ごみの有効活用 78
- 4 ポイ捨ての防止 79
- 5 地球温暖化の防止 80

第6章 地域別の環境づくり 81

- 1 北東地域 82
- 2 南東地域 83
- 3 南西地域 84
- 4 北西地域 85

第7章 計画の進行管理 87

- 1 計画の推進体制 88
- 2 進行管理の仕組み 89
- 3 点検評価の手法 90

資料編 91

- 1 武蔵村山市環境基本条例、環境審議会規則、環境推進委員会設置要綱 92
- 2 武蔵村山市環境基本計画（改訂版）の策定経過 98
- 3 環境審議会委員等名簿 99
- 4 用語集 100

【本文中の注釈について】

- ・本文中の『※』がついた用語には、資料編の「4 用語集」に、説明を記載しています。
- ・第2章に掲載している課名については、平成23年度の課名を使用しています。